

12月14日（金）『理科読を楽しむ会』

12月14日（水）に益田市民学習センターを会場に鎌手小学校・豊川小学校・戸田小学校・中西小学校・東仙道小学校・都茂小学校・匹見小学校・道川小学校の小学6年生94名が集まり「理科読を楽しむ会」を開催しました。「理科読を楽しむ会」とは実験の演示や、高校生の指導のもと児童の皆さんひとりひとりが自分で実験を行い、さらに絵本の読み語りなどをあわせて、科学と読書の両方の楽しさを伝える取り組みです。

ガリレオ工房 土井美香子さんを講師に迎え、各グループの実験の説明・指導に益田高校2年生がつかまりました。SSHのサイエンスプログラムの授業や放課後の時間を使って、どのように表現すれば児童の皆さんにわかりやすく読書と科学の楽しさを伝えることができるかを考え話し合い、実験を工夫しました。

普段はそこにあるけど見えない“空気”の重さや力、はたらきをどのように感じられるか実験を通して学びました。水槽の水で空気があるのを見て、シートで空気を捕まえて、紙コプターで空気が邪魔をするのを確かめ、大きな風船をつかって空気の重さを実感しました。また空気砲やかさ袋ロケット、新聞紙ドームを使って空気の持っている力と不思議を体験しました。

参加した児童の皆さんも益田高校の生徒も勉強をしながら楽しい時間を過ごしました。



絵本「くうきのかお」
を朗読しました



シートで空気を
つかまえます



大きな風船で空気の
重さを確かめます



空気砲から出た白い煙は
会場の端まで届きました



翼を付けたロケットは
まっすぐ遠くへ飛びました



うちわだけでこんな大きい
ドームが膨らみます